

LS-7000XT をご利用の皆様

リリースノート(Ver.16/04/07)
地震・火山・振動計測デジタイザ(LS-7000XT)

2016年5月30日
白山工業株式会社

この度、LS-7000XT ファームウェアがバージョンアップされました。今回のバージョンアップでは以下の機能修正が施されています。

■ 対象

2013年9月13日以前に出荷された機体で、2007年5月の改修が施され本体正面左上に青い丸印がついている機体。

※2007年5月の改修については下記 URL よりご確認ください。

URL: <http://www.hakusan.co.jp/download/keisoku/update/l7000xt.shtml>

■ 概要

－修正内容－

1. ネットワーク環境により、接続した LS-7000XT がリブートする、FTP 接続が出来ない、Ping 疎通はできるがデータが出力されない、などの現象を緩和する修正をしております。
2. うるう秒調整実施時に自動リセット設定の閾値を 1msec～1000msec 前後の設定でご利用の場合に LS-7000XT がリブートする現象を修正しております。

■ ファームバージョン

- LS70ANTI.MOT (アンチエイリアス版) Ver.16/04/07
- LS70CAL.MOT (オフセットキャンセル版) Ver.16/04/07

－修正内容の詳細－

1. リブートや FTP 出来ない、データが出力されない、などの現象を緩和

LS-7000XTで、ルート情報管理に関する不具合が発見され、修正されました。以下の現象が改善されます。

事例1) LS-7000XT本体のIPアドレスをデータ受信するパソコンのデフォルトゲートウェイアドレスへ設定した時にリブートを繰り返す現象を確認。

事例2) ネットワーク設定のミスで、異なるサブネットのブロードキャストパケット(現象確認時はプリンタ探索用のパケット)がLS-7000XTへ流れ込み、ルート情報を解決できなくなり、最終的にリブートした。

事例3) ルータを経由して異なるネットワークからのパケットを受信した時に、ping疎通が止まり、次にWINデータ出力が止まり、しばらく

するとLCD画面が止まる現象が発生した。

事例4) 同じネットワーク上にLS-7000XTと異なるサブネットマスクを設定したパソコンが接続されている時に、そのパソコンからブロードキャストを受け取ると数十秒後にリブートが発生する。

備考) これらの事例は、LS-7000XT内部のルート情報管理の不具合が原因で発生したものです。同じ原因の現象だけが、今回の修正により改善されます。

2. うるう秒調整時に、自動リセット閾値を1msec～1000msec前後に設定した場合にLS-7000XTがリブートする現象の修正

うるう秒調整時にAD変換されたデータはうるう秒を考慮した通常の処理が行われますが、同期ずれを検知するための時刻がうるう秒を考慮しておらず、1秒ずれと誤検知したため自動リセット機能が働きリブートしておりました。

自動リセットの閾値を、1msec～1000msecに設定している場合に発生します。0msecに設定している場合や、1001msec以上に設定している場合は、リセット機能は働きません。

以上